

第7回

北区リレーションシップ協議会会議録

令和元年9月6日

第7回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 令和元年9月6日(金)

開会 午後7時00分 ~ 閉会 午後8時30分

出席委員(17人)

- 座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
副座長 北区町会自治会連合会 薄井 哲夫
委員 日本スポーツ振興センターハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之
委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
委員 東京都北区体育協会 根本 貞義
委員 北区総合型地域スポーツクラブ れっど★しゃっふる 吉村 実花子
委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわ 大竹 秀樹
委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
委員 東京商工会議所北支部 越野 充博
委員 北区文化振興財団 石山 泰史
委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
委員 北区立中学校PTA連合会 川染 誉
委員 北区青少年委員会 清水 恒明
委員 北区政策経営部長 中嶋 稔
委員 北区地域振興部長 関根 和孝

欠席委員(7人)

- 委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
委員 北区立小学校PTA連合会 森 健太郎
委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 將雄
委員 北区教育委員会事務局教育振興部長 小野村 弘幸

次 第

1 開会

2 座長あいさつ

3 協議事項

- (1) ハンガリーイベントの開催について

4 報告事項

- (1) ハンガリー柔道協会との交流イベントについて
- (2) ラグビーワールドカップ2019™パブリックビューイングの開催について
- (3) JOCとのパートナー都市協定の締結について

5 各団体・機関からの報告

6 今後のスケジュール

7 閉会

午後7時00分開会

第7回北区リレーションシップ協議会

令和元年9月6日

【齊藤座長】 定刻になりましたので、まだ何名かいらっしゃらない方もいらっしゃいますが、始めたいと思います。

きょうは第7回北区リレーションシップ協議会ということですが、9月になって涼しい日が続いたと思いましたが、きょうは夏にまた逆戻りというような感じですが、お忙しい中、夕刻にお集りいただきましてありがとうございます。

ラグビーワールドカップが始まりますし、だんだんスポーツの気運、オリンピックに向けて高まるころですが、きょうまたそういった意味で気運を高めるために、情報共有を

させていただければなというふうに思いますので、よろしくどうぞお願いします。

まず、会議に先立って、会議の資料等をつくる関係がございますので、記録を残す関係で録音と写真の撮影のほうをご了承いただきたいと思います。よろしくどうぞお願いします。

きょうは傍聴の方はいらっしゃいますか。

では、傍聴の方が入りますので、よろしくどうぞお願いいたします。

早速アジェンダに沿って進めてまいりたいと思いますが、まずは資料の確認ですね。

事務局、お願いします。

【事務局】 事務局のほうから資料の確認をさせていただきます。

本日、まず、本協議構成員名簿、席次表、本日の次第をご用意させていただいております。その後に資料になります。資料は4まであります。

第1は、ハンガリーイベントの開催についての片面ページの資料でございます。これは協議事項になっております。

第2以降は報告事項です。

資料2は、ハンガリー柔道協会との交流イベントについての両面印刷4ページでございます。

資料3は、ラグビーワールドカップ2019™日本大会パブリックビューイングの開催についての片面1ページ。

資料4につきましては、JOCとのパートナー都市協定の締結についての両面2ページのものになっております。

また、東京商工会議所北支部様より、東京商工会議所北支部2020東京大会応援プログラム訪ハンガリーミッションの実施報告、両面印刷2ページとなっております。

また、日本・ハンガリー外交関係設立150周年記念切手発行についてのお願いの資料の片面1ページとなっております。

また、北区スポーツ推進委員協議会の広報紙でありますSport de KITA第

9号をご用意しております。

また、10月14日に開催するスポーツ祭り2019のチラシもをご用意しておりますので、よろしく申し上げます。

ない方はいらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。よろしく申し上げます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、早速3番の協議事項に入ってまいります、(1)ハンガリーイベントの開催についてということで、事務局のほうでご説明願います。

【事務局】 それでは、事務局よりご説明させていただきます。

資料1をお手元にご覧ください。

ハンガリーイベント実施(案)について経過報告でございます。

1、要旨でございます。

東京2020大会及びハンガリー柔道・フェンシングの事前キャンプに向けた気運醸成と国際理解促進、夢と希望の創出等のため、区内関係団体だけでなく、ハンガリー関係団体と連携しつつ、ハンガリーに関するイベントを検討していくというものでございます。

実施概要(案)でございます。

実施日、11月30日の土曜日、時間は10時半から15時半を予定しております。

場所は、滝野川体育館のアリーナとロビー、加えまして、第二武道場(地下の柔道場)も検討で入れているところです。及び滝野川公園となっております。

内容でございますが、現在調整中。今後も皆様方と調整させていただくので、現時点での想定案ということでございますが、ハンガリーのオリンピック・トップアスリートによるスポーツ教室、交流会、トークショー、ハンガリーの文化等紹介、こちらは写真展等をイメージしております。

それから、ハンガリーフェンシング、柔道の応援気運を醸成する企画。現時点ではスマートフェンシング等を検討しているところでございます。

飲食ブースでございますが、現在女子栄養大学、こちらは平成25年から北区と包括協定

を結んでおりますが、女子栄養大学との連携によりまして、ハンガリーと北区のコラボレーション料理の販売を考えております。現在開発をお願いしているというところでございます。

それから、物産展、そして、ハンガリー絵本の読み聞かせ。こちらは北区の中央図書館協力のもと、実施を調整しているというところでございます。

また、ハンガリーのオリンピック・トップアスリートということで、来日予定のハンガリー関係者でございますが、カラカシュ・ヘドヴィグ選手といたしまして、今週月曜日、9月2日に柔道交流会をやりましたけれども、そちらに出席いただきました。先週の世界柔道選手権にも女子57キロ級で出場された選手でございます。それから、元ハンドボールのプロ選手ということで、ナジ・ラースロー氏を現在招聘するというところで調整してございます。

こちらのイベントでございますが、その他のところにも書いてございます。前回のリレーションシップ協議会でもお話をさせていただきましたが、積極的に皆様方、区内関係団体と連携してオール北区で盛り上げていきたいと考えているところでございまして、現在の関係団体との調整状況というところを口頭ですが、ご報告させていただきます。

まず、滝野川体育館ですけれども、体育館の中のアリーナで、スポーツ推進協議会様とこれから調整させていただくのですが、ボッチャの体験会をやりたいと。

それから、スポーツ教室ですが、ハンドボールのナジ・ラースロー氏、本来はハンドボールの教室が率直なところでございますけれども、ハンドボールというところで、区内での団体等、なかなかなじみが薄いかなというところで、バスケットボール教室はどうかと。ナジ氏をゲストに迎えて、子どもたちと一緒にやるという企画を今後考えていきたいなど。体育協会さんを通じまして、バスケットボール連盟経由でミニバスチームを紹介いただいておりますので、そちらと今後調整をさせていただくというところでございます。

そのほかに、飲食ブース、物産展が滝野川公園、屋外でございますが、調整をさせていただいているところで、現在会場の設営等、屋外のブースのテントの数等、内部調整中で

ございまして、おおむね概要、規模感が固まりましたら、商連さんであったり、商工会さんに正式に依頼をして、盛り上げていただけるような形をとっていきたいと思っておりますので、その折にはよろしく申し上げます。

そして、本日皆様方にご相談がございまして、滝野川体育館のアリーナの半面、現在企画の中でアリーナの半面のうちの3分の2が企画としては埋まっていないところでございます。したがって、アリーナの半面の3分の2、比較的大きなスペースかと思えますけれども、どちらかというスポーツを中心とした企画で会場を盛り上げたいなと思っております、皆様方、関係団体様で、何かこういうので協力できるかなみたいなものがあれば、ご意見いただければなと思っております。

また、本日ご意見をいろいろいただければ非常にうれしいんですけども、すぐに決められるわけではないと思っておりますので、日時的には来週金曜日くらいまでに、後ほど事務局にご相談程度でも、こんなのができそうかなという程度でもまずはちょっとお話をいただければなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

本日何かご意見等、今ご説明させていただいた全体の内容につきましてもご意見がございましたら、いただければと思っております。

資料1、ハンガリーイベント実施案につきまして、経過報告は以上となります。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

ただいまの説明に関して、何かご意見、ご質問等ございますか。

はい、どうぞ。

【大竹委員】 コミスポの大竹です。

今の体育館の半面の3分の2というのをもう少し具体的に。入って真っ二つに分けますよね。それで、3分の2というのは縦に3分の2なのか、横に3分の2なのかというのはどうでしょうか。

【事務局】 バasketボールが多分2面とれるかと思うんですけども、そのBasketボール1面の3分の2と考えていただければ。

【大竹委員】 横に3つに分けた3分の2という意味ですか。縦に分けると細くなる。

【事務局】 横に3つに分けてその2つ。比較的四角い正方形に近い形になっております。すみません、ちょっと説明が不足しておりました。

【齊藤座長】 皆さんイメージが湧きましたでしょうか。よろしいですか。

この場で何かというところがありますか。

今の今で、すぐというのではないでしょうけれども、お考えいただいて、お手を挙げていただければいいと思いますが、来週金曜日までというところですね。

【事務局】 何かこういうのはどうかなという程度でも構いませんので、ご一報いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 特に手が挙がらなければ、事務局のほうから声かけいただくという形になりますね。

【事務局】 そういった形でもご相談させていただきます。よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 そのほかございますか。

特にないようでしたら、この内容にてお認めいただいたという形にしたいと思います。ありがとうございます。

次は、報告事項のほうに入りますが、報告事項（1）ハンガリー柔道協会との交流イベントについてということで、資料2をもとにご説明願います。

お願いします。

【事務局】 それでは、お手元に資料2をご用意いただければと思います。

ハンガリー柔道協会との交流イベントについて、要旨でございますが、事前キャンプ実施に向けての交流というところで、先日ハンガリー柔道協会の会長及び選手が2019世界柔道選手権東京大会のために来日いたしました。この機会を捉えまして、会長及び選手等を歓迎するとともに、親睦を一層深める目的としまして、交流会と懇親会を実施したというものでございます。

開催日時が9月2日月曜日、時間が17時半から21時ということで、柔道の交流会は滝野

川体育館、そして、懇親会は滝野川会館で行ったものでございます。

内容でございますが、柔道の交流会は、体育館の第二武道場で行いましたが、選手によるデモンストレーション、そして、子どもたちとの乱取り、質問コーナー、応援メッセージの贈呈を行いました。

応援メッセージでございますが、ハンガリーの国旗にあらかじめ参加するお子さんたちに寄せ書きを書いていただいて、その場で贈呈をさせていただいたというものです。

懇親会につきましては、その後夜、滝野川会館で立食形式の懇談、区民オーケストラによるハンガリー楽団演奏でお楽しみいただきまして、歓迎をさせていただいたというところです。

参加者でございますが、3番です。ハンガリー側につきましては、柔道協会、ラーズロー・トート会長、カラカシュ・ヘドヴィグ選手とクリスティアン・トート選手、そのほかコーチ2名。大使館からはゲレーニ・マルティネズ・アリナ次席ほか1名のご出席をいただきました。

北区側でございますが、交流会につきましては、区内在住・在学の小中高生36名、そして保護者の方も見学をしていただきました。

懇親会につきましては、行政側の区長、副区長、区議会議員、町会関係、商業・産業・スポーツ関係団体等から総勢26名のご参加をいただいたところでございます。

選手につきましては、先ほどご案内があったとおり、裏面をおめぐりいただいて、カラカシュ選手は女子57キロ級でございます。オリンピックにもう既に2度出ておりまして、2度の入賞、今回世界選手権は惜しくも1回戦で延長戦の末敗れてしまったところでございますが、また3度目のオリンピックの出場が期待されるというところ、それから、クリスティアン・トート選手でございますが、男子90キロ級でございます、世界ランキング現在2位でございます。世界選手権につきましては、3位決定戦までいったんですけれども、惜しくも敗れてしまったというところで、あと一步でメダルだったと。ただ、世界ランキング2位ということと、有望ということで、来年のオリンピックへの出場は有力視を

されているところがございます。

また、最後のページ、写真がございますが、正面のスクリーンで少し当日の様子、画像でございますが、ごらんいただければと思いますので、前方をごらんください。

こちらが選手と子どもたちの乱取りの風景ということでございまして、結構乱取りの時間をとっていただきました。ですので、ほぼ全員お子様が組み合うことができたのかなと思っております。

交流会の写真スライドショー

こういった形で、子どもたちが選手に群がるような形で、次は僕、次は私という形で大変盛り上がったというところがございます。

報告につきましては、交流イベントは以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

映像ではなくて画像にしたのは何か理由があるんですか。

【事務局】 画像なんですけれども、ジェイコムさんにご協力いただきまして、撮影はしていただいたんですけれども、まだそちらの納品が間に合っていなかったということで、映像の手配が間に合わず画像のみということで、申しわけございません。

【齊藤座長】 音があったほうが雰囲気わかりますからね。

では、いかがでしょうか、報告事項1に関しては。

【事務局】 すみません、報告事項の中で漏れていた部分がございます。大変申しわけございません。

資料2の表面、1ページ目をごらんください。4番その他のご説明が漏れてございました。

ハンガリー柔道協会の交流イベント、ハンガリーの事前キャンプに関するということで、今後のハンガリーに関する予定についてご説明をさせていただきます。

10月と11月には区立小中学校の学校給食におけるハンガリー食の提供、任意でございますが、現時点で小・中合わせて10校でハンガリー食の提供を行っていただけたということ、ご連絡いただいているところでございます。

こちらは何かしらの形で、できればハンガリーの関係者と一緒に取材等させていただいて、PRしていければなと思っております。

それから、10月20日でございますが、北区ニュースの特集号（ハンガリーの特集号）、現在作成中ございまして、発行させていただきます。配布方法でございますが、各世帯、各戸等にそれぞれ配布させていただくというもので、広くハンガリーについて皆様方に知っていただく機会にしていきたいと思っております。

11月30日が資料1、冒頭協議事項でご説明させていただいたハンガリーイベントを実施していくというものでございます。

すみません、以上でございます。

【齊藤座長】 皆さん、いかがでしょうか。

ちなみに、ハンガリー食というのはどういった料理があるのでしょうか。

【事務局】 今いただいている中で一番多いのは、グヤーシュといいまして、煮込みスープになりますね。ハンガリーの家庭料理ということで、結構有名な。家庭によっていろいろと具材とか味が違うというようなもの、日本でいうと、みそ汁みたいな位置づけのようです。

【齊藤座長】 越野さん、グヤーシュお食べになりましたか。

【越野委員】 はい、何種類もいただいてきました。

【齊藤座長】 皆さんいかがでしょうか。

特になければ、ご了解いただいたということにしたいと思います。ありがとうございます。

では、（2）番に移りますが、（2）番のラグビーワールドカップ2019パブリックビューイングの開催について、資料3をもとにご説明願います。

【事務局】 それでは、資料3をごらんください。

ラグビーワールドカップ2019日本大会パブリックビューイングの開催についてでございます。

要旨、ラグビーへの興味・関心を高めるとともに、大会への気運醸成を図り、翌年の東京2020大会への気運醸成にもつなげていくというものでございます。大型モニターを利用したラグビーワールドカップの観戦イベントを実施いたします。

また、開催期間中のうちの1日はタグラグビー教室を実施することで、あわせてコラボレーションをした企画ということで、関心を高め、気運醸成を図っていきます。

実施内容でございますが、パブリックビューイング、日時が記載の①から④の日本代表の試合4試合を実施いたします。

会場は、赤羽体育館1階にあります既設のモニター、赤羽体育館のみで行うこととなりました。

座席数につきましては、記載のとおり30席、それから、タグラグビーを行います9月28日につきましては、参加者が多いかなというところで50席でございます。ただ、参加状況に応じて、臨機応変に座席数を増やす対応ができるような形で臨みたいと考えております。

(2)でございますが、タグラグビー教室のコラボということで、9月28日土曜日のみ、13時30分から15時30分の間、サブアリーナにおきましてお子さんを対象としたタグラグビー教室を実施すると。終わった後、講師と一緒にパブリックビューイングにご参加いただいて、盛り上げていただくという連動企画を9月28日のみ企画しているところでございます。

また、9月20日開幕するワールドカップでございますが、それと合わせまして、広く関係機関、皆様方、SNS含めて口頭での伝達でも何でも構いませんので、PRをできる限りご協力いただければなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

皆さん、いかがでしょうか。

ラグビージャパン、結構調子がいいようですので、きょう南ア戦で勝つか僅差でいけば、結構いいところまでいくんじゃないかなというふうに思いますが、こちらのほうよろしいですか。

では、ご了解いただいたということにしたいと思います。ありがとうございます。

では、次に、(3) JOCとのパートナー都市協定の締結についてということで、資料4に沿ってご説明願います。お願いします。

【事務局】 それでは、資料4、JOCとのパートナー都市協定の締結についてでございます。

要旨、公益財団法人日本オリンピック委員会、山下会長でございますが、JOCが進めるオリンピック・ムーブメントの推進及びスポーツ振興を目的とするJOCとのパートナー都市協定につきまして、8月30日に調印式を行ったと。そして、協定を締結したものでございます。

同日、板橋区とともに同時締結をさせていただきまして、23区初の締結となりました。今後につきましては、協定に基づきまして、継続的かつ長期的にJOCの事業に協力しつつ、より一層の連携、そして、区のスポーツ関連事業のさらなる推進を図りまして、トップアスリートのまち・北区を推進していくというものでございます。

経緯でございますが、実は平成29年度に締結の話がございまして、準備をしていたところでございますが、平成30年度の締結直前になりまして、JOCがパートナー都市の位置づけを見直しますということがございました。その間、調整等をJOCでしたというところで、今回ようやく8月30日に新しくパートナー都市協定を締結したというものでございます。

パートナー都市の位置づけということでございますが、パートナー都市協定はもともと日本の選手たちの国際競技力向上ということで、練習拠点の強化を目的としたもので、各自治体とJOCが連携して施設等を整備していくというものでございました。ただ、これ

までの取り組みの中で一定程度の拠点整備が終えたというところで、今後につきましては、オリンピック・ムーブメント、いわゆるオリンピズムの普及・啓発、スポーツ振興を目的と、ソフト面に重点を置いたパートナーシップ都市協定にするというところに位置づけが見直されたというものでございます。

3番、調印式でございますが、8月30日11時から、Japan Sport Olympic Square、こちらは新しく建設されたビルでございますが、JOC側が山下会長、北区は北区長が出席のもと、調印式をとり行わせていただきました。

協定の内容につきましては、北区側の主な役割としましては、JOCが進めますオリンピック・ムーブメント推進事業への協力、JOCとの連携による諸事業への支援・協力でございます。

JOCの主な役割としては、北区が進めますスポーツ振興事業への協力、具体的には、各種事業へのオリンピアン、JOC関係者の参加が直接的なところかと思っております。

協定期間につきましては、年度末まででございますが、以後、1年単位の自動更新となっております。

今後の予定につきましては、JOC主催の、現在も行っております記載の3つの事業、中学校におけるオリンピック教室、中央記念行事として体育の日に実施しております、後ほどご説明があるかと思いますが、スポーツ祭り、それから、アスリート就職活動支援事業の「アスナビ」への協力をより一層強化するというものでございます。

裏面につきましては、当日の調印式の様子の写真、それから、そのほかに都市協定を締結しています自治体の一覧でございますが、8番のところに東京都がございます。東京都は既に締結をしておりましたが、都内の区市町村につきましては、板橋区、北区が8月30日、初というところで、今後連携を深めていくというものでございます。

報告は以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。パートナー都市の考え方が変わってきたという形。

よろしいですか。

では、ご了解いただいたということにしたいと思います。

では、報告事項はここまでになります。

続いては、各団体機関からの報告ということになりますが、まずは、お手元の資料でいきますと、東京商工会議所さんのほうになりますでしょうか、越野会長さんのほうからお願いできますでしょうか。

【越野委員】 それでは、お手元の資料をごらんいただきながら報告を申し上げたいと思います。

2019年7月11日から17日にかけて、前回のリレーションシップ協議会でも予告をさせていただきました東京商工会議所北支部2020東京大会応援プログラム訪ハンガリーミッションということで実施をいたしました。

11名の皆さんにご参加をいただきまして、ウィーンにまず入りましたが、そこから陸路ハンガリーのブタペストに参りまして、まず、訪問先としては在ハンガリー日本国関係機関ということで、ハンガリー日本国大使館及び国際交流基金ブタペスト日本文化センターということで、文化的なつながりですとか、経済的なつながりですとか、そういうものの基本的な情報を現地で収集をしてみました。

特に国際交流基金のほうでは、大変、日本語や日本文化を学ぶハンガリーの方が多いと。我々が思っていたより多いということで、実は蔵書1万冊を超える図書室がございます。お話を伺いましたら、東商の初代会頭でもあり、北区の誇る偉人でもございます渋沢栄一翁に関する本が一冊もないということでございましたので、書籍の贈呈をお約束して帰ってまいりました。

ちょっとこちらのオリパラからは離れますけれども、またそんなことも東商から発信をしてみたいと思っているところでございます。

それから、オリパラ競技団体の関係といたしましては、実はこの7月13、14、15日の3日間にわたりまして、柔道の国際大会の一つでございますグランプリ大会が開かれており

まして、こちらの視察及び観戦をいたしました。日本選手も大変多く出ておられましたし、もちろんハンガリーの選手もたくさん出ておられましたし、会場も今回の世界選手権に劣らないくらいの大変しっかりとした運営をされていまして、そこで先ほど来ご紹介のありましたトート会長との懇親等も深めてまいりました。

私とトートさんでにこにこして写っておりましたが、これは私が渋沢栄一のバッジを差し上げて、トートさんが柔道連盟のバッジをくれたというので大騒ぎをして大笑いしているところです。

それから、国際フェアプレー委員会のカムティさん、フェンシングのほうの重鎮でもあるんですけども、東京大会への協力の確認等をさせていただいてまいりました。

7月15日から、我々がもう帰ってきてしまった20日過ぎまでですけども、ワールドフェンシングチャンピオンシップ2019というのをやっております、まだ予選の段階でございましたが、視察をしてまいりました。

大変エンターテイメント性に富んだ設営をされておられまして、また、それからハンガリーという国が大変フェンシングに熱心であるというような状況も把握してまいりました。

また、日本選手団も多数参加をされておられましたので、あわせて激励をさせていただいたということでございます。

それから、3番目といたしまして、ブダペストの市内視察、ハンガリー文化の視察ということで、私ども東京商工会議所といたしましては、北区のオリパラから実施をされます選手の応援をメインにされたプログラムに付随する形で、さまざまな文化、経済の交流プログラムをオリンピックの期間に至るまで行ってまいりたいと思っておりますが、その企画に当たっての示唆をいろいろと受けてきたということでございます。

真ん中の下のところに、赤いブレザーを着てバイオリンを弾いている、これはレストランで一番有名なレストランだそうですけれども、そのジプシーバイオリンのバンドの音楽を聞かせていただきました。

日本でもこういうカテゴリーの名手がいらっしゃるわけでございますので、また文化振

興財団の石山さんともよく打ち合わせをしながら、こういったこともやっていきたいと思
いますし、また、先ほど学校給食のお話も出ましたけれども、北区の飲食店とコラボレー
ションしながらハンガリーの食を楽しんでいただくというような企画もいろいろとしてま
いりたいと考えている次第でございます。

また、この辺取りまとめましたら、年明けのこちらの会議があるようでございましたら、
年末から年明けにかけてご報告をさせてもらいたいと思います。

それから、もう1枚だけございますが、日本・ハンガリー外交関係設立150周年記念切
手発行についてということで、会員向けのものなんですけれども、これも前回こちらでご
報告を申しあげましたように、10月に外交関係設立150周年の記念切手というものが日本
郵便から発売されます。これを東商のほうで取りまとめて700シート、7,000枚を確保いた
しまして、まずは北支部がお正月ですとか、そういう会員1,800社の会員に対するご案内
に使ったりとか、それから、新年会はハンガリー色に染めたいというふうに考えておりま
すので、お土産に記念シートを差し上げたりとか、そんなことで使わせていただきたいと
いうふうに思っております。

そのほか、ぜひ会員の皆さんにご購入をいただいて、それぞれ通信をされるのに当たっ
て、この切手をぜひ使っていただきたい。それで、「何でなの」という話題にしていただ
きたい。こういうふうに考えている次第でございます。

きょうご出席の団体の皆さんでもぜひご応募をいただきますと、東商のほうで取りまと
めて、こういうふういたしますので、後ほど、今日は傍聴に事務局の小倉も来ておりま
すので、このお配りしたものを使ってお申し込みをいただければと思っております。

後ほど、12階の事務局のほうにお届けいただきましても、またファックスでお送りいた
だいても結構でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

私もぜひ購入させていただきます。

続きましては、きれいな印刷物がありますが、こちらのほうは、スポーツ推進委員会さんのほうですね。二村会長さんのほうからお願いいたします。

【二村委員】 スポーツ推進委員の二村でございます。

お手元に配付をさせていただきました。5月にでき上がりまして、既に6月に回覧板で各戸に回覧をしていただいているんですけども、若干印刷部数に余裕がございましたので、きょうは配付をさせていただきました。めくって中身を見ていただきますと、大きく4つの委員会がありまして、分かれて活動しております。

右上の生涯スポーツ委員会というところでスポーツ体験会というものを滝野川会館を借りて年に2回ほど行ってきております。ここの写真にはないんですけども、バドミントンと卓球、今まではずっとやってきたんですが、バドミントンと卓球をすると、今日本がバドミントン、卓球が強いということもありまして、かなり多くのお客さんがみえます。本当に順番待ちになってしまって、来ていただいて10分も楽しんでいただけないということで、今ちょっと逆に満足度が下がるということで、スポーツ体験会のほうでは行わず、その下にあります総合型地域スポーツクラブである隣の大竹理事長のコミスポたきのがわのほうでバドミントンと卓球の事業のほうをしていただいて、そちらに流れていただくというような形になっております。

オリンピックの競技といえば、その2つに携わってきたんですけども、最後の裏面を見ていただきますと、昨年2年前イベント、赤羽スポーツの森でやったときの記事なんですけれども、ちょうど真ん中の小さな写真がボッチャなんです。本来ボッチャというのはフロアの上で転がしてやるものでして、ここは人工芝でボッチャの球が転がらないので、どうしようかと。考えたところ、二間、三間のブルーシートにラインを書きまして、持ち込んで、さっと引いてできるんじゃないかといって、事前に確認をしましたら、よく転がるということで、これを用いて行いました。

実際この写真、暗く見えるんですけども、この日はものすごく晴れて暑くて、ちょうどこのボッチャのシートの上にすっぽりとテントを張っていたこともありまして、ほかの

競技は暑いということで、皆さんこちらに来てくださいます、かなり盛り上がりました。

このシートを実は使いまして、この夏の7月28日と先日なんです、8月31日、赤羽西口のビビオの七福神広場というところでイベントがありまして、そこで1時間程度だったんですが、ボッチャの体験コーナーをしてほしいということで、このシートを持ち込んできました。七福神広場でなかなか狭いところでして、ちょうどこのシートがぴったりあうというような形でありまして、隣のコミスポたきのがわさんのバナーをはったりですとか、あと、齊藤先生の東洋大学にものぼりを出していただけないかということで、お預かりしまして、のぼりを掲出させていただいて、31日には東洋大学から私どもの委員になっているイワサキさんという委員が1人参加しまして、一緒にボッチャを楽しんでいただきました。

そういった活動をしていますということで、紹介をさせていただきます。ありがとうございました。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

私も知らなかったけれども、北区はキンボールを盛んにやられているんですね。これは結構ハードなんですよ。

【二村委員】 今はスポーツ推進委員協議会とっていますが、その前はスポーツコーディネーター協議会といたしまして、もともとは体育指導員といたんですが、北区は昭和23年ころでしたか、十三年、四年くらい前に体育指導員から一度衣がえをしまして、スポーツコーディネーターとなって、実はその段階でもいろいろな体育指導員さんが持っていた用具等々も引継ぎがなかったものですから、やることが何もなくて、キンボールばかりをやっていたという経緯があって、今でもキンボールを強力に推進してまして、コミスポたきがわのほうでキンボールスポーツの練習会をやっているんですが、そこには在京のキンボールのワールドカップの日本代表のメンバーですとか、本当にトップ選手が集まって練習を教育相談センター向かい側で行っています。毎週水曜日にやっております。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、次の報告は、こちらのほうのカラーの赤いものになりますでしょうか。

【河村委員】 日本スポーツ振興センターの河村と申します。

赤いパンフレットでご紹介させていただきます。

例年体育の日、ことしは10月14日でございますけれども、私どものナショナルトレーニングセンター、あるいは国立スポーツ科学センターの運営におきまして、スポーツ祭りを実施しております。ことしは2019になりますが、開催予定でございますので、チラシのほうで少しご案内申し上げます。

内容といたしますと、ちょうど下のほうに黒いところに書いておりますけれども、大運動会というものと、ジョギング、ジョギングは敷地から離れまして、一般公道、こちらは赤羽警察の方にご協力いただきまして、一般公道を少し走れるというようなものと、あと、右側にあります専用施設というのは、各トレーニング施設の中に、上のほうに写真が書いてありますけれども、トップアスリートの方たちのOB、OGの方、あるいは一部現役の方も参加していただくのですが、そういう方がコーチとなって、スポーツ教室を行うというものも例年と同じでございますけれども、主催のものをやる予定でございます。

裏面を見ていただきますと、今私がお話ししました主なスポーツ教室というところの真ん中のところに、今回対象競技となるものがふれてあります。

あと、特徴点といたしましては、例年のナショナルトレーニングセンター、国立スポーツ科学センターにあわせまして、皆さんご存じかもしれませんが、ちょうど東側のところに東京都の旧産業技術センターという施設があったのですが、そこに新しくまたトレーニング施設を1棟建設いたしました。国のスポーツ庁のほうで6月末に施設のほうは完成をしております、私どもにその後運営の方を任されております。ちょうどこの施設も体育の日に活用しようと考えております。その施設の特徴といたしましては、現状、既存のオリンピック競技に向けての施設とパラリンピックも両方使えるような施設ということで、先ほど来お話のあります2020の東京オリンピック・パラリンピックを意識しました支援施設となっております。

具体的にいいますと、このところだと、28番のところは車椅子バスケットボールという表現がございますが、これはパラリンピック競技になりますけれども、そういう車椅子に乗ってのバスケットボールというものも体験をしていただける中で、オリンピック・パラリンピックの体験をして、また2020年に向けて気運が高められればと思っております。

ちなみにではございますが、大体例年でございますけれども、1日での入場者は大体1万4,000人くらい来ることになっておりますので、またことしも、天気によりますけれども、晴天にも恵まれれば、1万人以上の方がおいでいただけると思っておりますので、皆様方におきましても、小学生から中学生については事前の参加の仕組みにはなっておりますけれども、周辺の方にもお声をかけていただきまして、応募いただき、また、ご参加いただければと思います。

説明は以上です。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

令和最初の体育の日のイベントですので、ご参加いただければと思います。

そのほか、皆様のほうから連絡、報告等はございませんでしょうか。

事務局のほうありますか。

【事務局】 すみません、資料がないんですけれども、2件口頭にてご報告をさせていただきます。

まず、前回の会議の場でご議論いただきました来年の大会期間中に予定しておりますコミュニティライブサイトでございます。こちらにつきまして、当初実施計画、計画書を8月末までという話だったんですけれども、実は東京都組織委員会への提出期限が12月末ころということで、ちょっと延びたというところがございまして、その間、関係機関と調整しながらやっているところがございますが、まだちょっと計画ができあがっていないというところをご報告させていただきます。

また、この後、実施計画をつくっていくに当たりましては、今回皆様方に多方面でご協力いただいております11月30日のハンガリーイベント、このような形で、まず骨格的なところ

ろを行政、区のほうでつくらせていただきまして、それぞれの関係機関のところに適宜ご相談させていただいて作り込んでいきたいなど。また、その状況につきまして、こちら協議会で報告、または必要に応じて協議いただくというような形で皆様方と一緒につくりたいなど思っておりますので、少し進捗がおくれているところをご報告させていただきます。

それから、もう1点でございますが、今お話をさせていただいたのが、行政が実施しますコミュニティライブサイトでございます。もう1点につきましては、大会期間中におきますパブリックビューイング、いわゆる競技映像を中継してみんなで応援するというものです。したがって、出店とか、イベントとか、そういった付随的なところはなくて、あくまでも競技中継だけというものでございますが、実は従来これまでの大会、オリンピック・パラリンピックにつきましては、行政のみが承認を受けてできるというものでございましたが、今回の大会につきまして、パブリックビューイングが行政以外の実施主体ができますよというようなリリースがございましたので、ご報告させていただきます。

実施主体としましては、町会自治会であったり、商店街、幼稚園、学校、スポーツ競技団体、体協さんもそうです。それから、商工会議所さんとか、保育所等含みます児童福祉施設、あと、公益法人、その他非営利団体等ということで、こういった施設、団体がパブリックビューイングを正式に行えるような手続が発表されたところでございます。

こちらにつきまして、1月に詳細な内容は公表されるというところでございます。ガイドラインというのは既に組織委員会のホームページには概要は出てございますので、もし今後ご検討される場合には確認いただければと思っております。

注意点が幾つかございまして、すみません、口頭で申しわけございませんが、まず、申請等の手続、組織委員会への申請が必要なんですけれども、それぞれの団体様が直接行っていただくというものでございます。また、費用負担につきましては、各主体となる団体さんが負担、したがって、行政、区からの補助等は、そういった制度がないので、各団体さんでのご負担となってくるというものでございます。

今回組織委員会の承認を受けて行いますパブリックビューイングの対象は、いわゆるチラシとかポスター等の広報媒体で広く集客するもの、こういったものをやる場合には、組織委員会の承認が必要ですよというものでございますので、例えば区役所でいうと、庁舎とか、そういったところのモニターで、たまたまテレビがあって、オリンピックが流れていて、そこに人が集まって見ているというものは対象にならないと、あくまでも積極的に広報活動をして集客するというパブリックビューイングにつきましては、承認を受けて実施ができるというものでございます。

あくまでもパブリックビューイングができるということなので、オリパラ関係でいましていろいろな条件、いわゆるブランド保護であったり、アンブッシュマーケティングの防止といったところは同様に結構厳しくなってきますので、例えば町中でやるにあたってもそういったところの配慮が必要になってきますので、一定程度の規制が結構厳しいかなというところがございますので、その辺、手続につきましては、各団体さんで行っていただきますけれども、もしご不明な点とかありましたら、担当課のほうまでお問い合わせいただくという形でもよろしいかなと思っておりますので、まずはこういったものができるように今回なりますというところと、代表的なポイントとなる注意点だけご報告をさせていただきました。

以上でございます。

【齊藤座長】 広く周知するというのはどの辺までなんでしょう。例えば大学なんかで、ホームページで学生に呼びかけて大教室で行うというふうな部分も含めてということになりますか。

【事務局】 その辺は多分個別のご相談ということになってくるので、それが例えば承認が必要になってくるのかどうかというところは、もう本当に個別の対応で、恐らく今回ガイドラインが公表されたので、それを受けて、1月に詳細内容公表というところがございますので、そういったところでQ&Aとかも出てくるのかなとは想定されております。

【齊藤座長】 皆さん、いかがですか。よろしいですか。

ありがとうございます。

では、6番の今後のスケジュールということで、事務局のほうで確認いただければと思います。

【事務局】 次回開催予定日でございますが、令和元年12月12日木曜日午後7時から、北とぴあ7階の第2研修室を予定しておりますので、お時間の調整等よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 皆さん、スケジュールの確保をよろしくどうぞお願いいたします。

【越野委員】 さっき課長のほうからは特に予算がないというか、それぞれの皆さんの持ち出しで行っていただいたことなんで、発表がなかったんですけども、実は柔道のハンガリーとの交流の前に、世界選手権大会が開かれていて、オリパラ課の皆さん、5人の皆さんがトート選手の応援に行ってくださいました。商工会議所からも4名行ったんですけども、みんなでハンガリーの選手を一生懸命応援して、非常にハンガリーの柔道協会のトート会長も喜んでくださったし、選手もすごくそれについては感謝のほうを直接私も聞かせていただきました。

すごくすばらしいので、多分みんな持ち出しだったと思うんですけども、そういうことの積み重ねがこれからいろいろよくなっていくのかなと思って、ぜひそういうのも発表しちゃったらいんじゃないかなというふうに思います。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、全体を通じて、何かございますでしょうか。

【二村委員】 本協議会の構成員のスポーツ大使の高橋勇市さん、実は5年前、私たちと一緒にの仲間でスポーツ推進員をしていた経緯がありまして、連絡といたしますか、うわさがよく入ってくるんですが、今パラスポーツのほうのトライアスロンに挑戦をしまして、昨年12月のアジアの大会では優勝して金メダルをとって、それで、恐らく日本代表になれるであろうということで、今ちょうどヨーロッパを3カ所転戦中ということで、頑張っ

いらっしゃるんです。一緒に練習をしているパートナーの方なども私知っていて、かなりいけるんじゃないかと。ただ、最近ちょっと若手の選手が出てきているので、最後競りそうだということなので、ぜひ皆さんも応援していただければと思ひまして、紹介させていただきました。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

ぜひ結果が出ればいいですね。

実は11月に東洋大学の大学祭でも高橋さんをお呼びして、いろいろとデモンストレーションをやっていただくことになっています。ありがとうございます。

そのほかございますか。よろしいですか。

特にないということであれば、これをもちまして、第7回北区リレーシヨンシツプ協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。